

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーマ

コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 幸栄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第2四半期	4,697	△17.5	△201	—	△195	—	△135	—
23年3月期第2四半期	5,691	0.6	314	—	314	—	135	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △135百万円 (—％) 23年3月期第2四半期 135百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.74	—
23年3月期第2四半期	0.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第2四半期	8,887	5,472	61.6
23年3月期	9,397	5,792	61.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,472百万円 23年3月期 5,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,122	0.0	526	7.1	502	3.2	222	21.1	1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	183,765,644 株	23年3月期	183,765,644 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	780 株	23年3月期	763 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	183,764,874 株	23年3月期2Q	183,764,913 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付書類]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、国内におけるサプライチェーンの立て直しに伴う鉱工業などの生産の回復や各種政策効果などを背景に、景気は持ち直しの動きが見られましたが、企業収益が減少傾向にあることや厳しい雇用情勢が続くなど、東日本大震災の影響による厳しさが残りました。

景気の先行きについては、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、回復力の弱まっている海外景気の下振れ懸念、円高やデフレーションの影響など、景気を下押しするリスクが存在するなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況のもと、ブライダル事業（銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド、ホワイトベルの3ブランド等）は、景気悪化による個人消費の低迷に加え、企業間競争が一層激化するなど、厳しい経営環境下での営業となり、当社グループの業績に大きく影響する結果となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、仙台地区において約1ヵ月半余の営業停止を余儀なくされた店舗が発生したことに加え、計画停電の実施により一部の店舗において営業に支障をきたす店舗が発生したことなどにより、4月・5月の売上は計画に対して下回り、当連結会計年度のスタートが出遅れたかたちとなりました。

当社は、期初計画を達成すべく、全国の提携先企業からの送客による集客活動を強化しましたが、集客ソースの1つである誌面広告による媒体効果の低下が顕著となったことなどから、集客数が減少し売上は伸び悩みました。

当社は、誌面広告による媒体効果低下の対策として、広告誌面の改善や各地域の状況を踏まえ、集客効果が見込めるテレビCMなどの他媒体を有効に活用するなど、ブランド認知度をさらに向上させるための施策に取り組みました。

当社は、売上増加のための施策を実施するとともに、経費削減の徹底、業務改善の推進に引き続き全社で取り組みました。

しかしながら、想定した集客結果が得られず、売上は伸び悩み、利益を捻出することができませんでした。

従いまして、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が期初計画を下回り、平成23年5月10日付で公表した平成24年3月期 第2四半期（累計）の連結業績予想との間に乖離が生じたため、業績予想を修正しました。「平成24年3月期 第2四半期（累計）業績予想との差異に関するお知らせ」（平成23年11月7日開示）

結果として、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高46億97百万円（前年同四半期比17.5%減）、営業損失2億1百万円（前年同四半期は営業利益3億14百万円）、経常損失1億95百万円（前年同四半期は経常利益3億14百万円）、四半期純損失1億35百万円（前年同四半期は四半期純利益1億35百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上総利益率は67.8%となり、高い水準を維持しました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるブライダル事業の主な施策などは、以下のとおりです。

1) 新店舗1店（移転1店舗）開設

第1四半期連結累計期間に開設・増床した店舗に加え、当第2四半期連結会計期間に以下の店舗を移転、開設しました。

7月29日 「エクセルコダイヤモンド 神戸店」を移転、開設。

2) 商品力強化

（銀座ダイヤモンドシライシ）

・新作オリジナルセットリング“Angel Ladder（エンジェルラダー）”を7月23日に発表。

（エクセルコダイヤモンド）

・オリジナルエンゲージリング“Nouvelle Mariee（ヌーヴェルマリエ）”にセットマリッジリングを7月9日に追加、発表しました。

・オリジナルマリッジシリーズ“Dispersion（ディスパーション）”を8月6日に発表。

・新作オリジナルセットリング“CORONET（コロネット）”に新たにマリッジリングを8月13日に追加、発表しました。

・新作オリジナルセットリング“Ceremony（セレモニー）”を9月17日に発表。

（ホワイトベル）

・オリジナルマリッジシリーズ“couture（クチュール）”を8月20日に発表。

3) 提携先ホテル・式場数の増大と提携関係のさらなる強化を推進

4) 集客力強化

新たな集客チャネルの開拓を推進するとともに、独自の集客活動を全国各地で実施し、売上に寄与してきました。

また、当社は、主力のブライダル事業において集客数を増やし売上の増加を図るため、平成23年9月7日に連結子会社となる株式会社ウェディングサポートを設立しました。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりです。

販売・サービス別売上高

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第2四半期連結累計期間(千円) (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)	構成比(%)
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	4,489,042	82.1	95.6
	ファッション関連販売・サービス	207,485	95.9	4.4
	その他(注)2	941	21.7	0.0
合 計		4,697,470	82.5	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. 「その他」は、催事、本社関連などの売上となっています。

3. 当社グループが提供するサービスの拡充に対応するため、当第2四半期連結累計期間より「セグメントの名称」、「販売・サービスの名称など」を変更しています。

ブライダル関連販売・サービスの売上は、ブライダルジュエリー販売、ギフト販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっています。

ファッション関連販売・サービスの売上は、ファッションジュエリー販売となっています。

なお、前年同四半期比については、前第2四半期連結累計期間の実績を新たな販売・サービスの区分で計算しています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億5百万円減少(同9.6%減)し、57億5百万円となりました。主な増減要因としては、繰延税金資産の増加73百万円、現金及び預金の減少7億35百万円などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円増加(同3.1%増)し、31億82百万円となりました。主な増減要因としては、有形固定資産の増加76百万円、敷金及び保証金の増加17百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、88億87百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少(同8.7%減)し、26億38百万円となりました。主な増減要因としては、1年内償還予定の社債の増加70百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少84百万円、未払法人税等の減少1億74百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて61百万円増加(8.7%増)し、7億76百万円となりました。主な増減要因としては、社債の増加80百万円、長期借入金の減少14百万円などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、34億14百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億19百万円減少(同5.5%減)し、54億72百万円となりました。主な減少要因としては、四半期純損失による利益剰余金の減少1億35百万円、剰余金の配当による減少1億83百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は61.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が生じました。詳細については、平成23年11月7日公表の「平成24年3月期 第2四半期(累計)業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、平成24年3月期 通期の業績予想については、現時点では平成23年5月10日に公表した予想数値に変更はありません。

※本資料の上記の予想は、発表日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,249,645	514,515
受取手形及び売掛金	344,000	344,652
商品及び製品	4,461,948	4,496,248
原材料及び貯蔵品	64,909	67,086
前払費用	107,768	114,806
繰延税金資産	83,634	156,776
その他	17,210	28,551
貸倒引当金	△17,946	△17,385
流動資産合計	6,311,170	5,705,252
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	749,151	778,603
車両運搬具（純額）	86	47
工具、器具及び備品（純額）	948,876	996,430
有形固定資産合計	1,698,114	1,775,081
無形固定資産		
ソフトウェア	39,396	36,982
ソフトウェア仮勘定	—	5,500
電話加入権	4,932	4,932
無形固定資産合計	44,329	47,415
投資その他の資産		
長期前払費用	35,735	33,126
敷金及び保証金	1,131,348	1,149,341
繰延税金資産	156,490	159,225
その他	20,523	18,423
貸倒引当金	△591	△521
投資その他の資産合計	1,343,507	1,359,596
固定資産合計	3,085,950	3,182,093
資産合計	9,397,121	8,887,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317,402	315,114
短期借入金	1,015,118	1,000,024
1年内償還予定の社債	100,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	268,046	184,032
未払金及び未払費用	488,624	457,228
未払法人税等	209,683	35,628
前受金	165,311	171,582
その他	326,513	304,762
流動負債合計	2,890,700	2,638,372
固定負債		
社債	350,000	430,000
長期借入金	90,898	75,924
退職給付引当金	221,513	235,248
長期未払金	51,660	34,866
固定負債合計	714,071	776,039
負債合計	3,604,772	3,414,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,777,743	1,777,743
資本剰余金	1,536,643	1,536,643
利益剰余金	2,474,641	2,155,087
自己株式	△72	△73
株主資本合計	5,788,954	5,469,400
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,394	3,533
その他の包括利益累計額合計	3,394	3,533
純資産合計	5,792,348	5,472,933
負債純資産合計	9,397,121	8,887,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,691,795	4,697,470
売上原価	1,844,462	1,514,144
売上総利益	3,847,333	3,183,325
販売費及び一般管理費	3,532,797	3,385,171
営業利益又は営業損失(△)	314,535	△201,845
営業外収益		
受取利息	146	155
為替差益	19,561	14,589
未払配当金除斥益	4,523	3,941
貸倒引当金戻入額	—	243
その他	738	2,033
営業外収益合計	24,969	20,963
営業外費用		
支払利息	14,641	8,733
社債発行費	10,039	2,217
社債利息	—	3,723
その他	307	52
営業外費用合計	24,988	14,727
経常利益又は経常損失(△)	314,516	△195,609
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,445	—
不正事故損失回収益	11,334	—
特別利益合計	12,779	—
特別損失		
固定資産除却損	6,234	8,799
特別損失合計	6,234	8,799
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	321,061	△204,408
法人税、住民税及び事業税	167,662	7,257
法人税等調整額	18,016	△75,876
法人税等合計	185,679	△68,619
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	135,382	△135,788
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,382	△135,788

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	135,382	△135,788
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	376	139
その他の包括利益合計	376	139
四半期包括利益	135,758	△135,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,758	△135,649

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。